

ダイヤモンド就活ナビ2022

モニターレポート 5月調査



【 調査概要 】

- 調査対象 / 2022年3月卒業予定の大学院生・大学生
- 有効回答 / 156名
- 調査期間 / 2021年5月7日(金)～2021年5月19日(水)
- 調査方法 / WEB入力フォームより回答

トピックス

1 就職活動の進捗状況

現在の就活の進行状況での最多は「一次面接」で71.8%
内定獲得は30.8%、就職先を決定し活動を終了した学生は4.0%

2 エントリー・選考状況

志望度の高い企業・業界にのみエントリーが最多。
企業の見つけ方は、就職サイトの検索で企業を見つけるが66.2%

3 内定状況

内定業界は情報・通信業界、サービス業界が29.4%と最多
内定承諾は27.8%

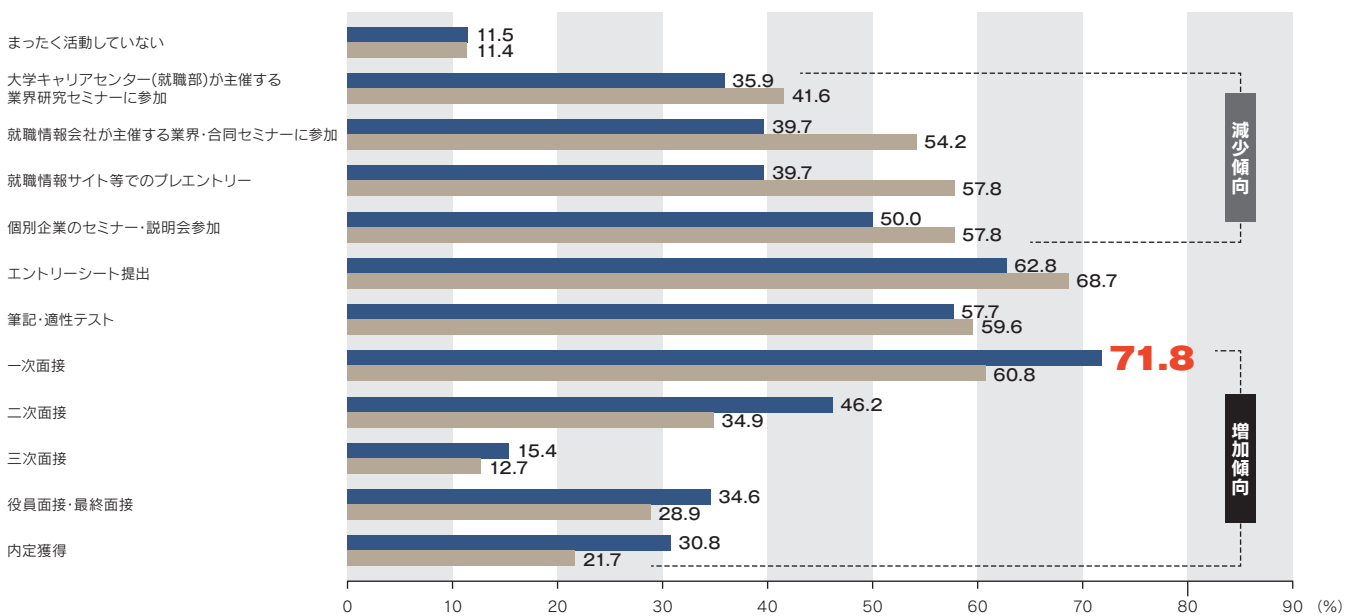
4 就職活動観

就職活動の環境については、苦戦するかも37.0%、
悲観的だ41.1%と大多数

1 就職活動の進捗状況

Q.1 現在の就活の進行状況で当てはまるものを全て選択してください。

■ 22卒5月調査
■ 21卒5月調査

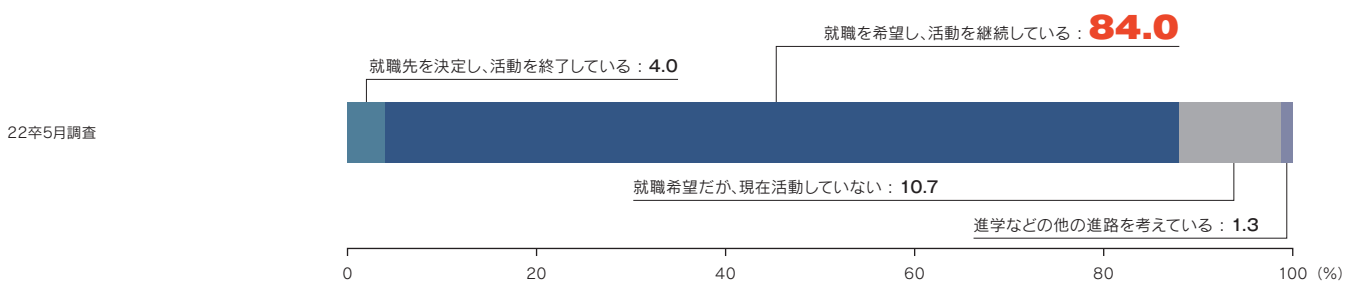


平均参加回数

(回)

	21卒5月調査	22卒5月調査		21卒5月調査	22卒5月調査
大学キャリアセンター(就職部)主催業界研究セミナー	3.9	3.0	一次面接	6.1	7.2
就職情報会社主催業界・合同セミナー	4.4	5.1	二次面接	2.9	4.2
就職情報サイト等でのプレエントリー	37.2	45.9	三次面接	1.6	1.6
個別企業のセミナー・説明会	14.1	22.9	役員面接・最終面接	2.1	2.2
エントリーシート提出	14.4	17.9	内定獲得	1.8	2.1
筆記・適性テスト	10.4	11.0			

Q.2 現在の就活状況について、最も当てはまるものを1つだけ選択してください。



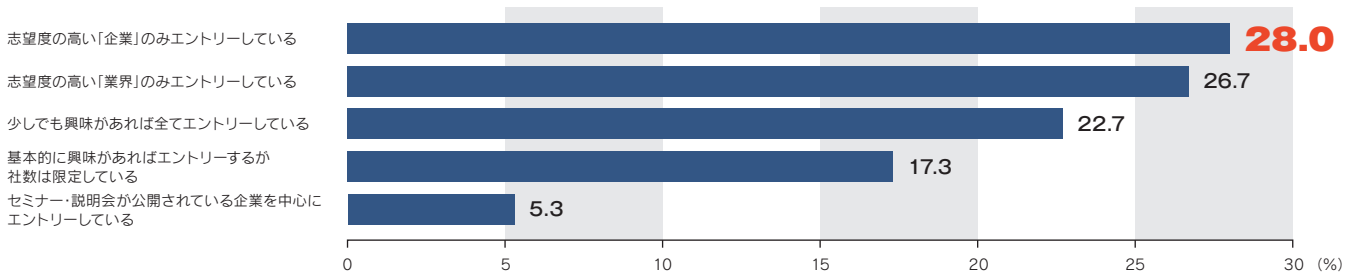
comment

就活の進行状況は、セミナー参加から筆記テストなどの選考の初期段階にいる学生の割合が減少しているのに対し、一次面接60.8%(21卒)→71.8%(22卒)、二次面接34.9%(21卒)→46.2%(22卒)、三次面接28.9%(21卒)→34.6%(22卒)、役員・最終面接28.9%(21卒)→34.6%(22卒)、内定獲得21.7%(21卒)→30.8%(22卒)と、昨年同時期に比べて前倒しで選考が進んでいることがうかがえる。

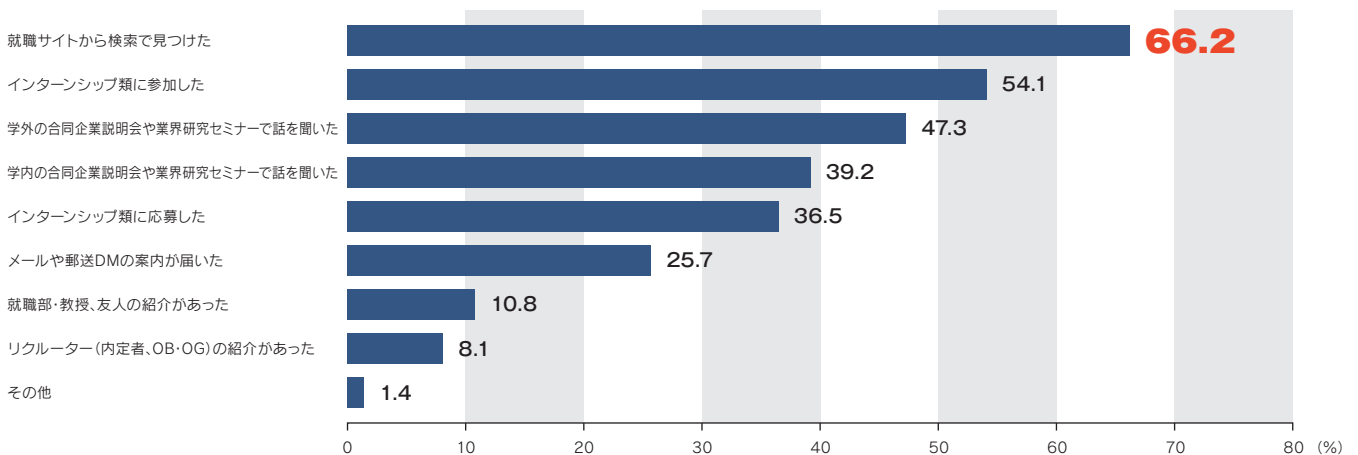
平均参加の回数は昨年同時期と比較して、プレエントリー数は8.7社、個別企業のセミナー参加数は8.8社増加している。

2 エントリー・選考状況

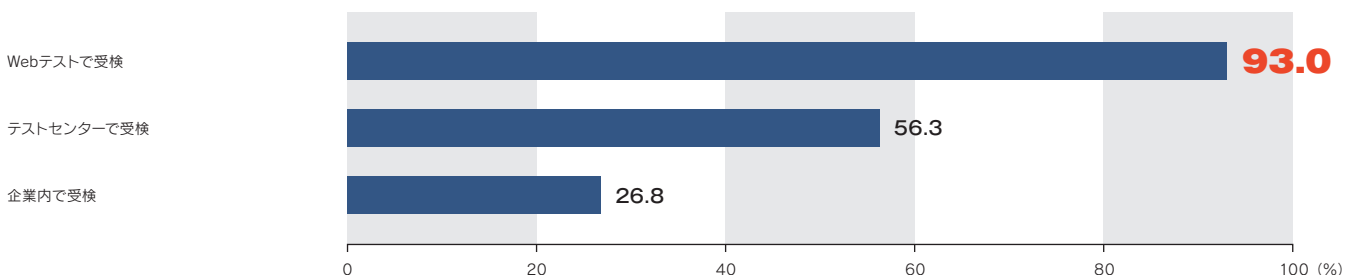
Q.3 | 企業にエントリーする際の基準を教えてください。



Q.4 | 個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは何ですか？



Q.5 | 現在までに受検した筆記試験・適性検査について、受検方法を全て選択してください。



comment

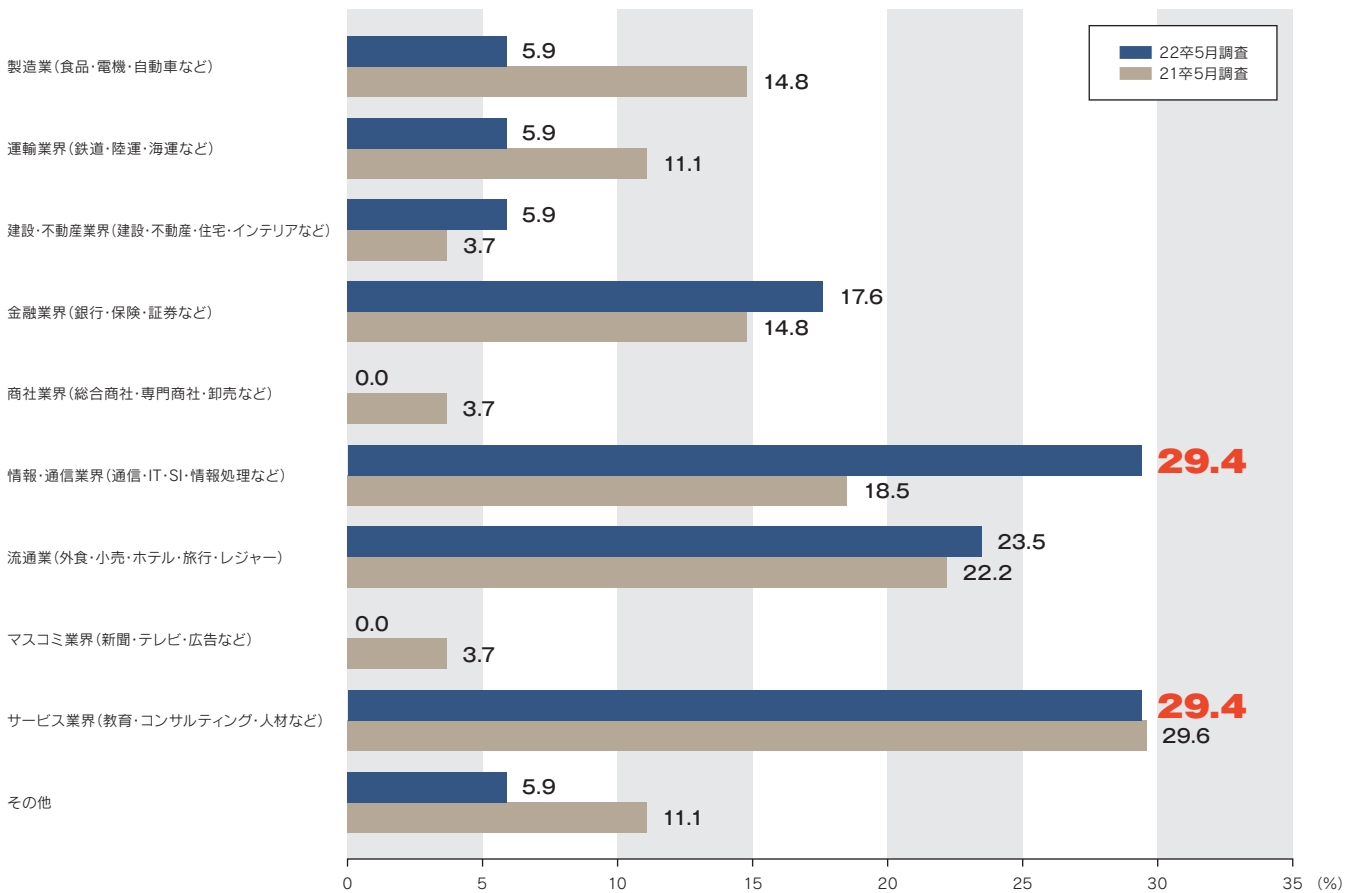
企業にエントリーする基準は、「志望度の高い「企業」のみエントリーしている」28.0%、「志望度の高い「業界」のみエントリーしている」26.7%と、志望度の高さで選んでいる学生が多く、66.2%の学生が就職サイトを利用して能動的にセミナー・説明会に参加する企業を見つけると回答した。

インターンシップ類に参加した54.1%、インターンシップ類に応募した36.5%と、インターンシップからセミナー、説明会への流れも多かった。

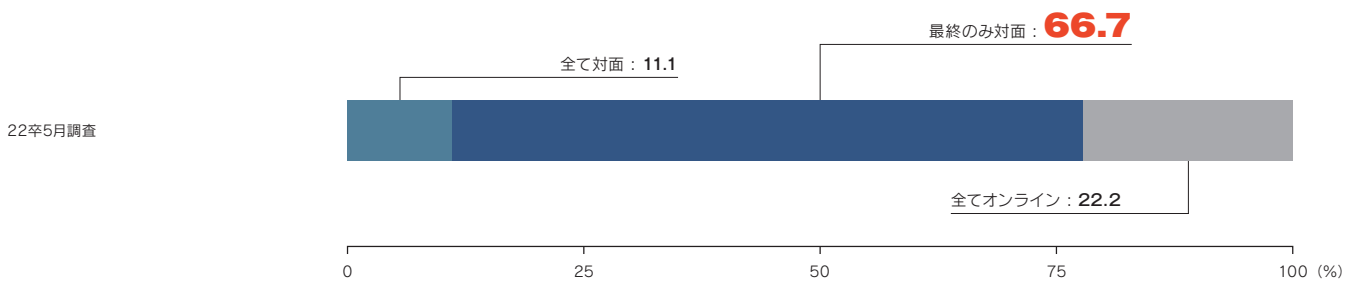
コロナ禍の影響を受けてか、筆記試験・適性検査は「Webテストで受検」が93.0%と、主流になっている。

3 内定状況

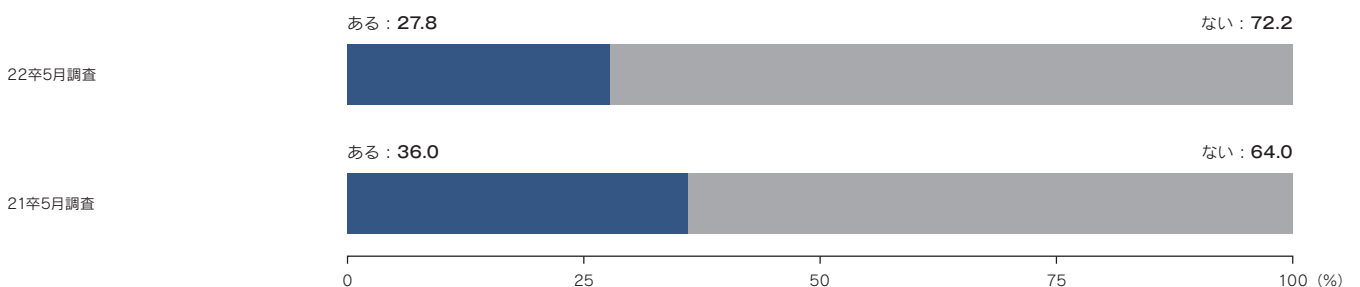
Q.6 | 内定した企業の業界とそれぞれの社数を、当てはまる項目全てにお答えください。



Q.7 | 内定した企業とは対面で接触選考はありましたか？

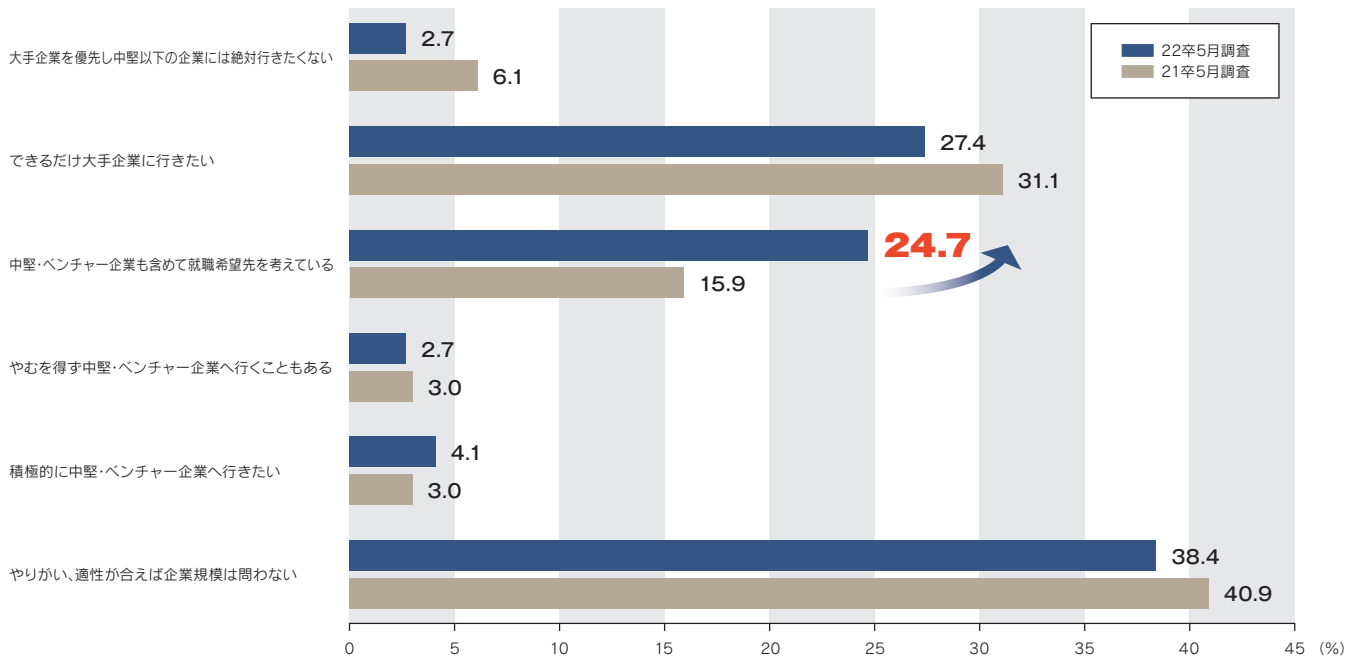


Q.8 | 内定をもらった企業のうち、入社を決めた(内定を承諾した)企業はありますか？

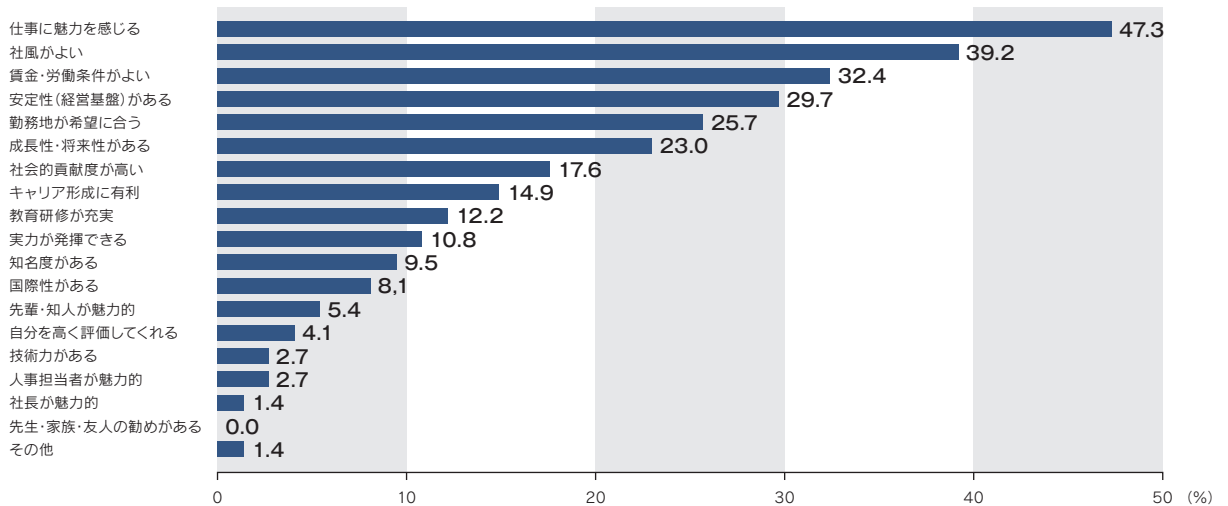


3 内定状況

Q.9 | どんな企業に入社したいと思いますか？現在の考えに近いものを教えてください。



Q.10 | 企業を選ぶ基準は何ですか？現在の考えに近いものを3つお答えください。



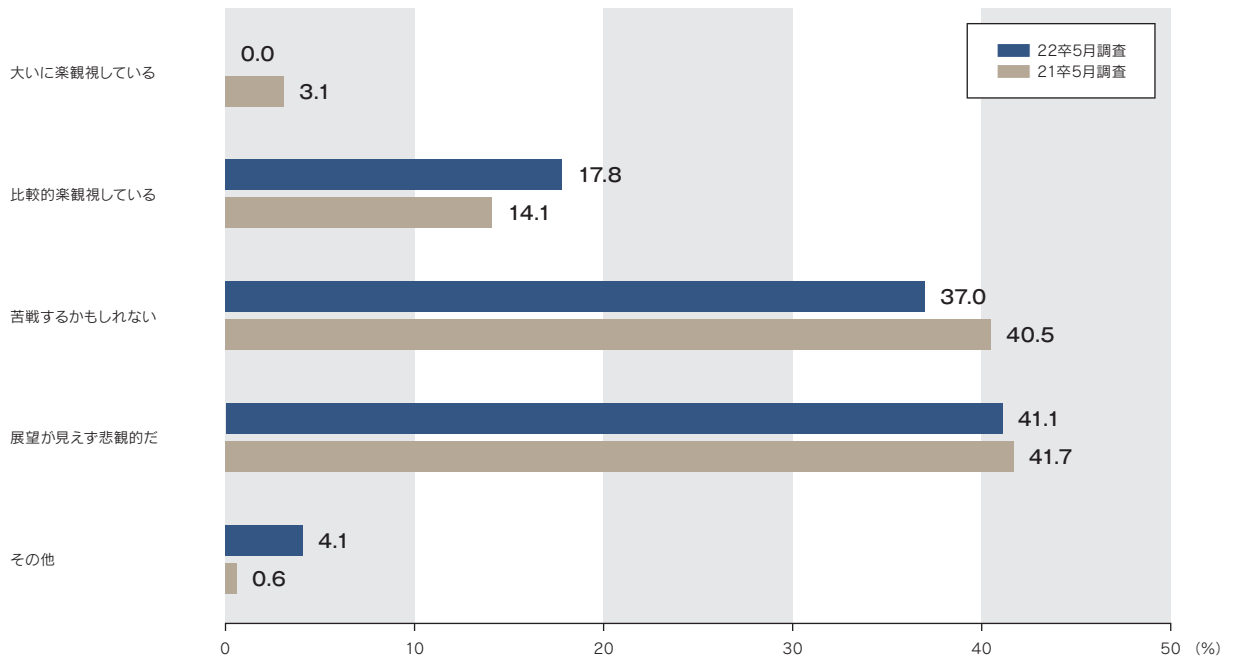
comment

内定した企業の業界と社数は、製造業14.8%(21卒)→5.9%(22卒)、運輸業11.1%(21卒)→5.9%(22卒)と減少しているのに対し、金融業界14.8%(21卒)→17.6%、情報・通信業界18.5%→29.4%と増加している。

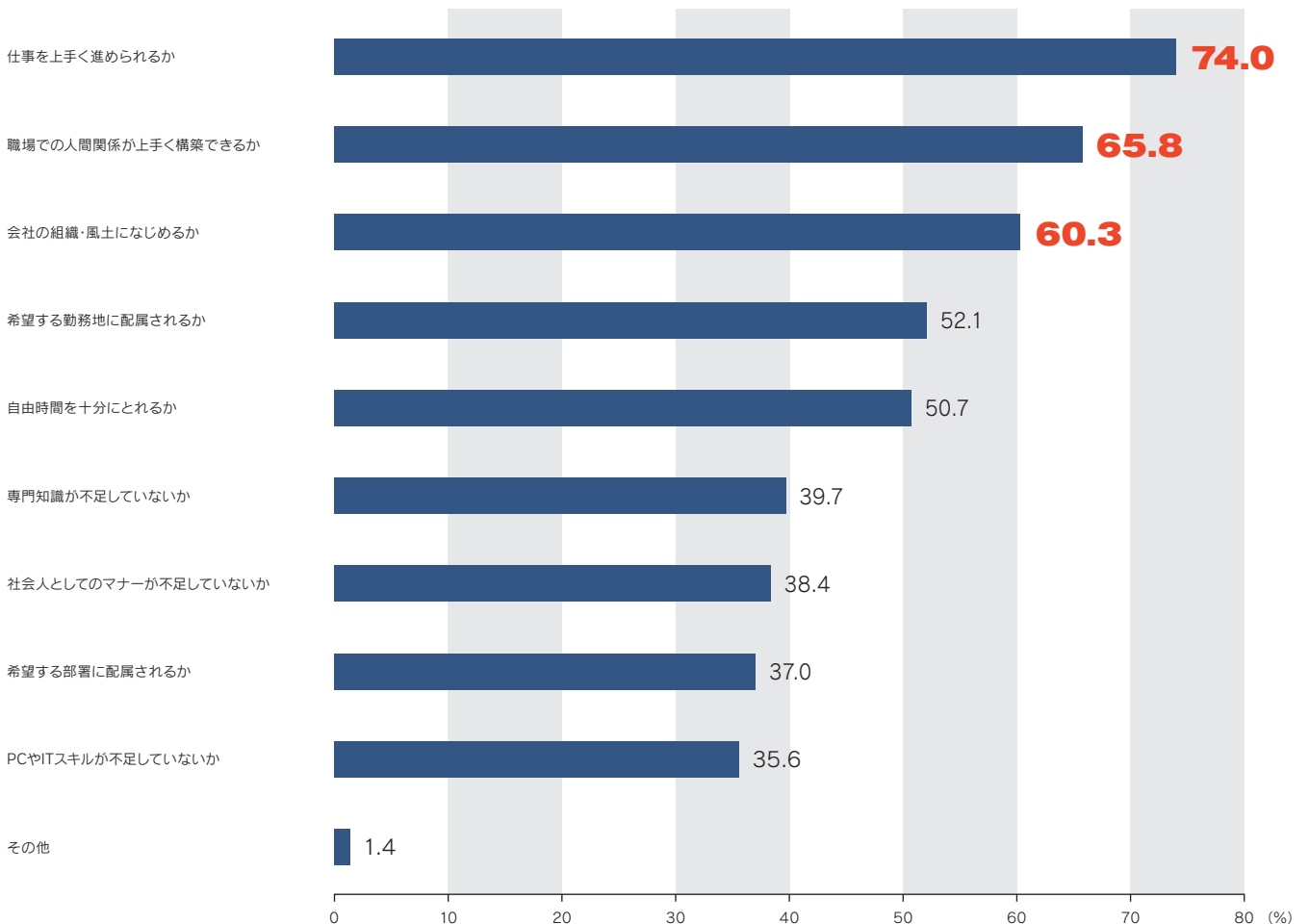
経験した面接の実施方法では、「全て対面」は11.1%に留まり、「全てオンライン」22.2%、「最終のみ対面(最終以外はオンライン)」66.7%と、大多数の企業がオンライン面接を実施している結果となった。

内定承諾率は36.0%(21卒)→27.8%(22卒)と減少。入社したい企業は大手優先が減少し、「中堅・ベンチャーも含めて広く希望している」が15.9%(21卒)→24.7%(22卒)と増加している。

Q.11 | 就職活動の環境について、どのような感想をお持ちですか？

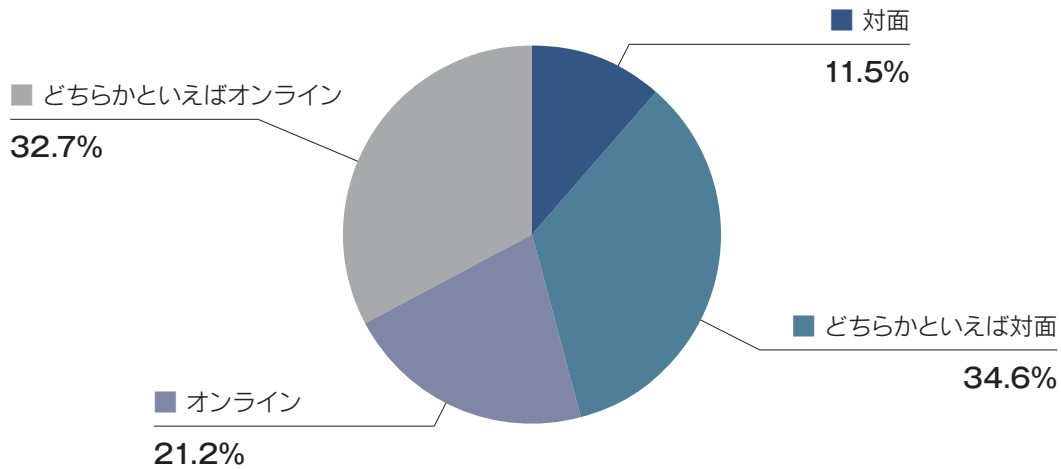


Q.12 | 社会人になるにあたっての不安について教えてください。



4 就職活動観

Q.13 | 面接選考について伺います。選考方法を選べる場合、対面とオンラインどちらを希望しますか？



Q.14 | その理由を教えてください。

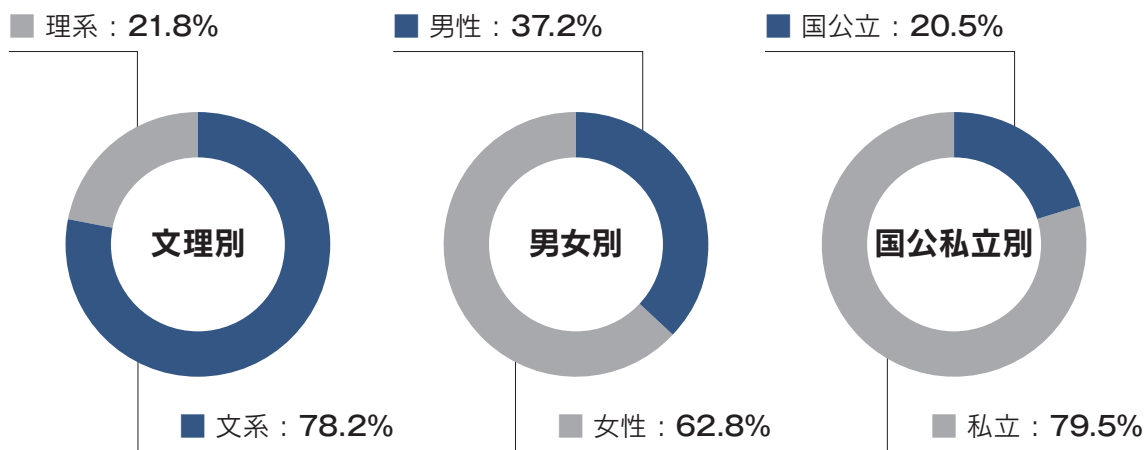
対面	<ul style="list-style-type: none"> ● 間の取り方や視線など、対面の方が自分の力を発揮しやすく、それで落ちてでも納得できるから。 ● 面接官の様子を汲み取りやすいし、自分の発言や感情も対面だと伝えやすいと感じるから。
どちらかといえば対面	<ul style="list-style-type: none"> ● オンラインだと相手の表情が分かりづらく、自分の表情も伝わりづらいと思うから。 ● 対面の方がより熱意が伝わりやすいと思うから。インターネットが繋がらないなどのトラブルを回避できるから。 ● 企業の雰囲気が見られるから。 ● オンラインならではの通信環境や対話のタイムラグなどを考慮せずスムーズに会話をすることができ、互いに相手の表情なども読み取りやすいので、マッチングにより役立つと考えるから。 ● 対面の方がアイコンタクトが取れて、会話の間をきちんと感じ取れて話すことができるから。 ● モニター越しでは見えない情報が多く、企業の内容が分からないから。
オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ● オンラインだと、面接が始まる直前までエントリーシートや企業研究シートを見返すことができるため、安心できる。 ● 入室マナーや身だしなみに比較的気を遣わずに済むため。 ● 対面だと、感染症への感染が心配で、交通費や移動時間もかかるから。 ● 交通費削減と時間の短縮のため。 ● 実際に企業に足を運ばずに、自宅で安全に選考を受けることが出来るから。
どちらかといえばオンライン	<ul style="list-style-type: none"> ● 対面だとより細かいところまで気を張らないと見られるから。 ● 外出することがためられるから。 ● また、オンラインでの面接に慣れることで、表情や話し方に気をつけることがスムーズにできると思うから。 ● 時間の調整がしやすいから。 ● 交通費や移動時間を面接対策に使えるため。 ● 交通費がかからず、気軽に参加できるから。 ● 時間を有意義に使える。また緊張を軽減できる。

comment

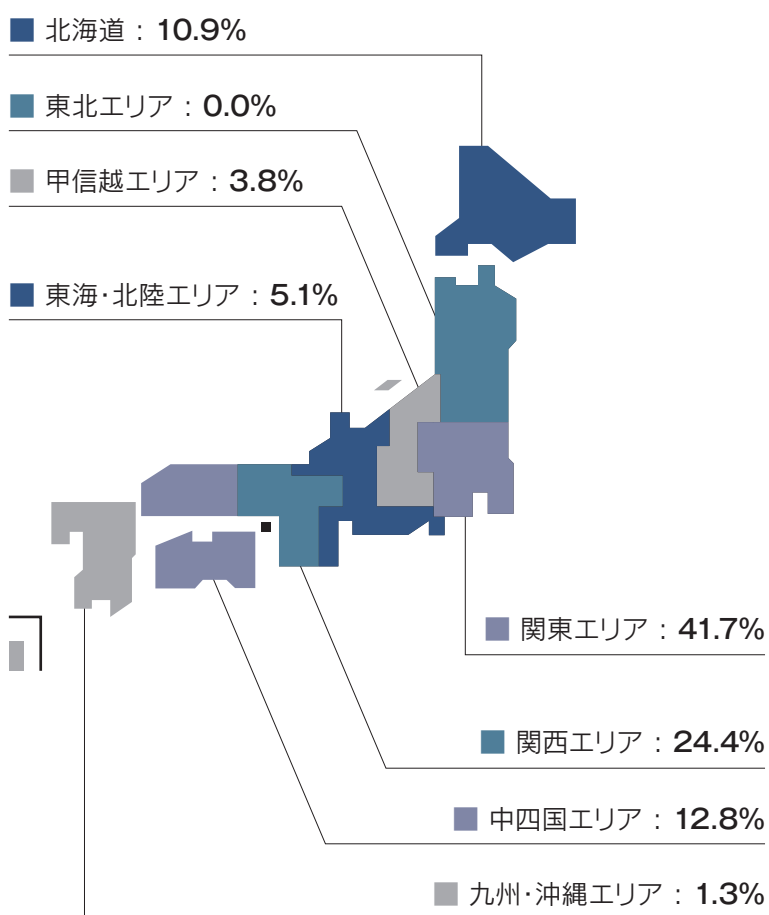
就職活動の環境については、「比較的楽観している」が14.1%(21卒)→17.8%(22卒)と増加した一方で、「苦戦するかもしれない」37.0%、「展望が見えず悲観的だ」41.1%と、依然として大多数を占めている。社会人になるにあたって不安に思っていることは、仕事を上手く進められるか74.0%、人間関係の構築65.8%、会社の組織・風土60.3%の順になった。選考の希望は「対面」「どちらかといえば対面」が46.1%、「オンライン」「どちらかといえばオンライン」53.9%となり、オンライン面接を希望する学生が半数を超えた。主な理由として、交通費と時間の節約や、感染症への不安、緊張の軽減が挙げられている。

[モニターレポート 5月調査内訳]

(有効回答：156名)



エリア別



回答の多かった大学

- 明治学院大学
- 青山学院大学
- 早稲田大学
- 近畿大学
- 日本大学
- 跡見学園女子大学
- 関西学院大学
- 北海学園大学
- 関西外国語大学
- 広島大学
- 山口大学
- 信州大学
- 東洋大学
- 龍谷大学
- 武蔵大学